

## 目次

### 巻頭インタビュー

- 宮澤保夫会長に聞く  
今こそ原点に戻り、ダイナミックに前に進むとき。 .....1

### 特集 共生科学再考

#### —ウィズコロナ時代の「共生科学」とは—

- 山脇直司：  
総論 コロナ禍と「共生を多角的に学問する」 .....10
- 細田満和子：  
公衆衛生（Public Health）からみた COVID-19  
—今こそ大切な共生の思想と実践— .....19
- 児玉ゆう子：  
感染症と共生していくためにすべきこと  
—看護学の立場から— .....28
- 大嶋英一：  
ウィズコロナの時代の国と国の共生  
—日本の役割— .....36
- 今津孝次郎：  
コロナ禍の下で「共生」と「博士課程教育」を問い直す  
—社会人院生との「対話」を通して— .....51
- 西原智昭：  
人と野生との距離  
—アフリカ・コンゴ盆地の熱帯林地域における感染症・食文化・先住民に関する一考— .....59
- 中安恆太・砂田淳一郎：  
コロナ禍における福祉現場の対応と課題  
—高齢介護事業所と里親家庭から— .....68
- 手島 純：  
通信教育・遠隔教育と教育の機会均等  
—「いつでも どこでも だれでも」を手放さないために— .....75
- 高木由起子・渋谷 聡：  
新型コロナウイルス感染症拡大における体育実技系授業の取り組みと今後の可能性の検討  
.....82

### 特集コラム 星槎グループのコロナ禍への対応と課題

- 山本健太・榎本悠介・中根直也・平林直子：  
事務局全身体制で臨んだ“今までと違うやり方”と今後 .....93

坂田映子： 交流や学びを止めない －国際交流の取組みと意義－	96
嶋田 優： 「教育実習中止」から教育現場につなげる信念とは	99
天野一哉・大平奈美佳： Zoomによる全国一斉授業やオンラインフィールドスタディを試みた高大連携	101
檜永卓三： おうち時間の有効活用 －授業体験を生かして、生活に潤いを！－	103
千田光久： 総合キャリア支援センターの設立経緯とめざすもの	105
保屋野初子： コロナ禍での社会貢献 －「全力！ SEISA まなびチャンネル。」－	108

## 研究ノート

仁平義明： 子どもに障害を説明するとき －「苦手－得意」という表現の問題点－	111
--	-----

## 特別企画 「グローバルコミュニケーション専攻」始動

山脇直司： なぜ今、グローバルコミュニケーションなのか －共生の視点から－	126
平岡麻里： 国境を越えた相互理解（グローバルコミュニケーション）をめざす仲間づくりを	131
Daniel Woods： Glocalism in English Education	136
大和洋子： グローバルな視点を持った英語科教員の育成をめざして	138
東 智美： “グローバル”と“ローカル”をつなぐ「よそ者」の役割	143

## 書 評

坂田映子： 『マイ・グリーンスクール ―幸せを目指すブータンの学校』 (タクル・S・ポードル著/細田満和子訳 星槎大学出版会)	147
保屋野初子： 『コンゴ共和国 マルミミゾウとホテルの行き交う森から』増補改訂版 (西原智昭著 現代書館)	150
三森睦子： 『発達障害の子どもたちから教わった35のチェンジスキル』 (阿部利彦著 合同出版)	153